

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	環境基本計画推進事業											
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費	会計	一般会計	事業コード	520113	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040401	施策名	環境学習を推進する								
	開始年度	平成16年度											
	終了予定年度	平成36年度											
	関連計画等	第2期福知山環境基本計画											
	根拠法令等	環境基本法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	第2期福知山市環境基本計画に掲げる総合ビジョンを実現する。総合ビジョンは、10年後～四半世紀後の福知山の将来像を表すもので、自然を大切に、人を大切に、資源を大切に、その循環(環[わ])を大切にしながら暮らしを営みながら、すばらしい知恵や知識を次世代へとつなげていく“まち”、共に幸せを生きる“福知山”を一人ひとりが創りあげながら				
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.1
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	福知山環境会議				
	事業概要	第2期福知山市環境基本計画に掲げるリーディングプロジェクトを、環境ボランティア団体である「福知山環境会議」が市と協働して実施し、計画で掲げる福知山の将来像(総合ビジョン)を実現していく。リーディングプロジェクトの主なものとして、「みどりのカーテン実施率日本一」「福知山の自然体験」「由良川・里山」「生きもの調査」「サケの飼育と採捕・放流」「ごみの減量と生ごみの堆肥化による資源の有効利用」がある。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)		
	業務委託料	リーディングプロジェクト実施経費	680			
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額			
	①当初	750	680	680	638				
	②補正予算								
	③流充用額	0	0						
	④繰越額計	0	0	0	0				
	前年度繰越								
	次年度繰越								
	財源内訳(①③④内訳)								
	一般財源	375	340	340	638				
	国支出金	0	0						
	府支出金	375	340	340					
	地方債	0	0						
	その他特財	0	0	0					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	みらい戦略一括交付金	種類	府補助金	実績金額	340	決算付属資料	頁
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.70/0.20	0.7 / 0.1	0.51 / 0.1	0.51 / 0.1				
⑤概算人件費		6,100	5,850	4,330	4,330				
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		6,850	6,530	5,010	4,968				
⑦執行額		750	679	680					
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		100.0%	99.9%	100.0%	0.0%				

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		「みどりのカーテン」実施率	%	10 / 12	11.7 / 15	8.3 / 16	/	25
		プロジェクトへの年間参加者数	人	2,190/2,850	3,587/2,900	3,000/3,000	/	3500
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		プロジェクト実施回数	回	98 / 114	110 / 116	118/118	/	140
		単位あたりコスト		7.7	6.2	5.7		
	回	/	/	/	/	0		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・本市の環境啓発活動の中心となる事業で、市民に浸透しており、目的達成に不可欠な事業である。市民ボランティア的な活動であり、行政と協働での実施を原則としている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市民・事業者らが無報酬で活動しており、委託料の内訳は、消耗品等の経費が大半を占める。必要最低限の経費で様々な活動が行われている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標は、計画が目指すビジョンの達成状況を示すものに変更する必要がある。 ・市内の様々な団体、事業者、学校と交流や連携しながら協働で活動できている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		市民、事業者、行政が協働で環境基本計画を推進していくなかで、各プロジェクトが取り組む環境啓発活動には毎年多くの参加があり、平成30年度の参加人数も目標数値を達成することができたことから、一定の成果は得ることができた。ただ、みどりのカーテン実施率については、異常気象による7月豪雨や猛暑が影響し、目標値には大きく届かず実施率は低下した結果となった。今後、実施率を上げるには、みどりのカーテンによるエネルギー消費削減率を具体的な数値で示すなど、その効果や利点を具体的に訴えて、取り組むことが重要であり、その他のプロジェクトについても、同様の視点で、参加人数だけでなく、目指しているビジョンの達成度を考えながら進めていく必要がある。	
今後の課題及び方向性		環境基本計画の目標を示す成果については、計画が目指すビジョンの達成度がわかるものとして検討する。 みどりのカーテン活動は、単に実施するだけでなく、地球温暖化防止にどれだけ効果があったかを重視し、みどりのカーテンによる電力削減量の算定式を設定、電気代削減効果及びCO2削減効果でPRする。 リーディングプロジェクトのうち、軌道に乗って順調に進んでいるものと、軌道に乗っていないものとの差が生じているので、軌道に乗っていないものに重点を置いて、計画を進める。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

一次評価(担当課による自己評価)

庁内及び外部による評価(棚卸し評価)

来年度方針

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	環境審議会開催事業											
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費	会計	一般会計	事業コード	520120	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040501	施策名	環境を大切にしたい生活・事業活動を推進する								
	開始年度	平成17年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	環境基本法第44条、福知山市附属機関設置条例、福知山市環境審議会規則											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	環境の保全に関する基本的事項等を市長の諮問に応じ調査審議し意見を具申する事務を行う。市の環境政策について市民や有識者等から意見をいただき反映させることで、適切な環境行政の推進を図る。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.0	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	福知山市環境審議会は、学識経験者や技術者、住民代表などで構成され、現在10人の委員が委嘱されている。環境保全に関する計画の策定、変更や重要な課題について審議会に諮問し、答申を受ける。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	委員報酬費	環境審議会10人×3回分の委員報酬費			168		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	176	160	128	0	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	40		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	176	160	168	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.05 / 0	0.12 / 0	0.26 / 0	0.26 / 0	
⑤概算人件費		400	960	2,080	2,080	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		576	1,120	2,248	2,080	
⑦執行額		0	56	168	0	
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		0.0%	35.0%	100.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		適正に進行している計画数		3 / 3	3 / 3	3 / 3	/	3
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		開催回数	回	0 / 2	1 / 2	3 / 2	/	2
		単位あたりコスト		0.0	56.0	56.0		
		回	/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・法律及び条例に基づき設置する、環境保全に関する市長の諮問機関であることから、現状の形で進める必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・委員報酬のみの最小限の経費で運営されている。委員報酬の額は、条例に定められたものである。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・環境保全に関する計画が適正に運用できているかを、指標としている。 ・様々な外部機関より選ばれた委員で構成されており、多様な意見を得ている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	法律及び条例に基づく審議会であり、ここで審議を受けることにより、市外部からの意見が反映され、第三者のコンセンサスが得られるものであり、平成30年度の審議会では、逼迫状態にある福知山市不燃物埋立処分場の延命化実施計画について十分な審議を受けることができたことは評価できる。これから受ける答申に基づき、延命化に向けた施策を実施していく。		
今後の課題及び方向性	環境保全に関する基本的事項について、基本計画以外で第三者の意見を反映すべき審議事案についても諮問を積極的に行い、より有効な成果が現れる審議会とする。また、委員の構成メンバーについて、環境や廃棄物の専門知識を有する委員を含めるよう、現委員の任期である平成31年5月31日までに検討する。 平成31年度より環境保全一般事業に統合する。		

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課						
	作成責任者	井上 和成						
	事業名	環境保全一般事業						
	会計情報	款 衛生費	項 保健衛生費	目 環境保全費	会計 一般会計	事業コード 520121	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード 040502	施策名 公害対策を充実させる					
	開始年度	平成16年度						
	終了予定年度	平成32年度						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	公害紛争処理法						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民、事業者の環境意識を高めて、環境保全の進んだまちとする。環境公害発生時には、その対策を行い、市民の公害に対する不安を解消する。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.1	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	環境パーク施設見学、環境問題出張講座、その他啓発活動を行い、市民・事業者の環境保全意識を高める。公害苦情発生時に現地調査、発生源への指導等の苦情処理を行う。事業所の公害発生施設設置届出に関して、法令に基づき指導、受理する。平成31年度より環境測定事業を含める。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		報償費	夜久野町養豚団地環境保全委員会委員謝礼			50	
旅費		公害苦情処理担当者会議ほか			148		
需用費		啓発資材			86		
役務費					12		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	341	320	296	1,623	
	②補正予算					
	③流充用額	0	△ 11			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳 (①③④内訳)					
	一般財源	341	309	296	1,623	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.84 / 0	0.89 / 0	0.91 / 0	0.91 / 0	
⑤概算人件費		6,720	7,120	7,280	7,280	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		7,061	7,429	7,576	8,903	
⑦執行額		223	260	296		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		65.4%	84.1%	100.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業所公害苦情発生件数	件	10 / 22	15 / 22	7 / 22	/	22以下
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設見学・環境講座回数	回	27 / 50	27 / 50	22 / 50	/	50
		単位あたりコスト		8.3	9.6	13.5		
			0	0	0	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・公害苦情処理は法令に基づき行政で実施する必要がある。公害に苦しむ市民の要求に応えるものであり、優先度は高い。市民への啓発も必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・環境保全の啓発資材や環境対策関連会議の旅費など最低限必要な経費のみである。啓発活動は、費用のかからない施設の利用などコスト削減に取り組んでいる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標は、過去の実績から設定した目標である。 ・府下の公害苦情担当者会議などで他市の公害事象などの情報交換を行っている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		第4次総合計画策定時の実績から事業所公害苦情発生件数の指標を設定しているが、事業所に対する市への苦情件数は減少しており、数値的には目標を達成できている。ただし、苦情者が直接事業所へ連絡するケースもあり、完全に解決できず継続となる案件も増える傾向にある。施設見学や環境講座等の年間参加者数の成果指標は目標に届いておらず、今後は更なる工夫も加えた環境保全の啓発も行いながら、市民の環境保全意識を高めていく必要がある。	
今後の課題及び方向性		公害から生活環境を守ることは、行政としての責務であり、継続して取り組まなければならないが、市民・事業者側の環境保全に対する意識も重要であり、市民一人ひとりの実践も重要であるため、引き続き環境保全への取り組みを強めていく必要がある。ただ、取り組みの結果については、どれだけの成果があったかについての判断が難しい部分もあるが、公害苦情については、法令違反を明確に確認できない事例が多くあり、強い行政指導ができず、事業者努力を促す継続案件となり、根本的な解決に及んでいないケースが増えていることが課題である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	不法投棄防止パトロール事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540108	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成22年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市街地外周部や山間部での不法投棄が後を絶たず、地域環境への影響が懸念される。不法投棄の防止には、早期発見・早期対策が必要不可欠であるため、巡回パトロールとごみの回収を行うことにより、不法投棄防止対策の充実と市民生活の安心安全を図ることにつながる。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.1	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、(福)しあわせネットワーク					
	事業概要	不法投棄が多い重点監視地点を中心に巡回パトロールを実施し、不法投棄されたごみを処理する。また、回収した不法投棄物の内容を調査し、不法投棄者の特定につながる物を発見した場合は、警察と連携して注意・指導を行う。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	業務委託料	不法投棄防止等パトロール業務2件			5,178		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	4,213	6,113	5,179	4,004	
	②補正予算			0		
	③流充用額	176	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	2,283	3,507	2,590	2,002	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	2,106	2,606	2,589	2,002	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.11/0.03	0.12 / 0.05	0.17 / 0.04	0.17 / 0.04		
⑤概算人件費	955	1,085	1,460	1,460		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	5,344	7,198	6,639	5,464		
⑦執行額	4,389	5,178	5,178	0		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	84.7%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		回収量	t	11 / 0	8 / 0	7 / 0	/	0
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		パトロール回数	回	236 / 236	234 / 234	234 / 234	/	218
		単位あたりコスト		18.6	22.1	22.1		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てを含めた不法投棄の防止は生活環境の保全のためには必要性が高い。 ・自治会等による地域美化活動では、回収しきれない。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標、活動目標は最終的に不法投棄が無くなることを目標としている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		パトロール活動は目標どおり実施し、不法投棄ごみを回収することで不法投棄行為を抑制し、生活環境の保全に努めたことは評価できる。	
今後の課題及び方向性		不法投棄が無くなることを目標としているが、現状は、回収と再発の繰り返しであり、効果的な対策を検討しつつ、生活環境の保全のためには、パトロール活動により、回収を継続する必要がある。 平成31年度からパトロール日数を縮小することで業務の効率化を図り、これによる成果の検証を行う。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	施設管理・周辺対策一般事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540109	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	昭和50年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	環境パーク周辺地域の環境対策及び環境パーク施設管理等を適切に行うことで、環境パーク利用者へのサービスの充実と周辺地域住民の生活環境の保全を行う。				
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.1
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	(株)環境総合テクノス京都支店、(株)アクアテック				
	事業概要	環境パーク周辺地域の大気環境測定業務及び、環境パーク場内の雨水排水管浚渫を業者委託により行う。また、施設の維持に要する消耗品、車両の維持管理、適切なごみ処理に必要な資材など必要な経費を賄う。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)
		旅費	京都府庁協議			11
需用費		不法投棄防止用看板、燃料費、車検修繕			510	
役務費		車検手数料、自賠責保険料			74	
委託料		環境パーク周辺環境調査業務、場内雨水排水管浚渫業務			5,908	
公課費	自動車重量税			7		
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	6,950	9,826	8,589	0	
		②補正予算			0		
		③流充用額	626	0	0		
		④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越			0	0	0	
		次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①④内訳)	一般財源	7,576	7,617	6,024	0	
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	2,144	2,500	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	65	65	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.2/0	0.18 / 0	0.18 / 0	0.18 / 0	
⑤概算人件費		1,600	1,440	1,440	1,440		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		9,176	11,266	10,029	1,440		
⑦執行額		7,576	8,439	6,510	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		100.0%	85.9%	75.8%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		環境基準達成率	%	100/100	100/100	100/100	/	100
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		測定箇所数	箇所	10/10	10/10	10/10	/	10
		単位あたりコスト		757.6	843.9	651.0		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	0
単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・環境パーク施設管理、周辺対策のために必要な事業であり、市民サービスの充実につながっている。地元との公害防止協定の遵守のためにも必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト削減に努めることが必要であるが、最低限の経費で済むよう心がけている。 ・測定業務等は、直接実施よりも業者委託が最も効率がよく、コスト削減が図れる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果指標は、環境パーク周辺住民の安心安全が図れるものとしている。 ・測定機器の設置場所の提供など、地元協力を得ながら実施している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		測定結果は、環境基準を達成しており、ごみ焼却施設を原因とする大気汚染の影響を危惧されている周辺地域住民に不安を与えない結果が得られている。 環境パーク場内の施設管理についても、適切な維持管理が図れている。	
今後の課題及び方向性		環境パーク周辺自治会と環境保全に関する信頼関係の維持・継続に必要な事業であり、また、環境パーク施設管理についても同様に必要であるため、今後も継続的に実施をする。 平成31年度より環境パーク運転・維持管理事業に統合する。	

庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	所見

三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	所見

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	資源ごみ集団回収報奨事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540113	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成3年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	福知山市資源ごみ集団回収団体報奨金支給要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	各種市民団体の自主的な資源ごみの集団回収により、環境パークへ持ち込まれるごみ量が減少し、処理費用の削減が図られている。PTA、子ども会、老人会などの団体による回収活動を通じて、子どもから高齢者まで、すべての人がごみの減量・分別・リサイクルの必要性を実感し、環境問題の大切さを認識している循環型社会のまちづくりを実現する。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.1	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	登録団体 103団体					
	事業概要	営利を目的としない団体(PTA、子ども会、自治会など)による資源ごみ(新聞、雑誌、ダンボール、空き缶、廃食用油など)の集団回収に対し、資源ごみ1kgあたり3円(廃食用油の場合は1リットルあたり3円)の報奨金を支給することで市民の自主的な活動を後押しし、ごみの減量、リサイクルを進める。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	報償費	回収量1,844.325kg × 3円			5,533		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	11,056	9,878	6,258	5,475	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	5,528	4,939	6,258	2,738	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	5,528	4,939	0	2,737	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.18/0	0.17 / 0	0.12 / 0	0.12 / 0		
⑤概算人件費	1,440	1,360	960	960		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	12,496	11,238	7,218	6,435		
⑦執行額	8,341	7,608	5,533	0		
執行率 (7/(1+2+3+4) × 100)	75.4%	77.0%	88.4%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		リサイクル率	%	18.3 / 19.5	17.5 / 20.0	17.5 / 22.6	/	25.0(H32)
		年間1人当たりごみ排出量	kg	152 / 155	147 / 151	147 / 147	/	138(H32)
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		資源ごみ回収量	t	2,085/2,747	1,902 / 2,774	1,844 / 2,809	/	2,882
		単位あたりコスト		4.0	4.0	3.0	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会、PTAなど多くの団体が登録しており、この制度は市民に定着している。 ・この事業による回収量は、市全体の再資源化量に大きな割合を占めている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度実績で試算すると、市が同量の資源ごみを収集・処理をする場合よりも、報奨金制度のほうが経費節減ができる計算結果であった。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 ・他の多くの市町村でも実施されており、その取組みを参考にしている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<ul style="list-style-type: none"> ・市民による積極的な集団回収により、環境パークへのごみの持込み量を減らすことに貢献しており、処理費用の削減やリサイクル率の向上につながっているが、目標値達成のためには回収量の増加が必要であるが、年々減少傾向にあるため、活動意欲を高めるための啓発等の方策を検討しなければならない。 	
今後の課題及び方向性		<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみ回収を実施する団体が減少傾向にあるため、実施団体の増加や環境意識の向上を目指しながら、報奨金単価について、回収量、引き取り価格、及び他市町村の状況から総合的に判断し、最適なバランスについて検討する。 平成30年度は、報奨金単価を1kg当たり4円から3円に変更し、それに伴う実施状況の変化や買い取り市場価格についてデータを収集している。今後、これらデータを基に今後の方向性を検討する。 	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	清掃管理一般事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	清掃総務費	会計	一般会計	事業コード	540119	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	昭和50年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	廃棄物処理等の市民サービスを充実させるために、環境パークの運営に関する一般行政事務を円滑に進めることを目的としている。一般事務に要する予算を一括することで、円滑な予算管理が進み事務の効率化を進める。						
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.6		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等							
	事業概要	環境施策に関する調査回答、連絡調整など、全般的な事務を行う。(室の庶務、予算の管理、執行) その他、京都府廃棄物処理対策協議会・全国都市清掃会議の年会費の負担、旅費など全般に渡る事務的経費を一括して賄う。						
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
		旅費	廃棄物処理対策協議会総会ほか				148	
		需用費	用度物品、プリンター、参考書籍ほか				756	
		役員費・使用料及び賃借料	電話料、郵送料・複写機使用料				1,372	
		備品購入費					687	
負担金補助及び交付金・公課費		全国都市清掃会議年会費ほか				114		
関連事業								

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	4,394	3,645	3,653	3,301	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越				0	
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	4,394	3,645	3,653	3,301	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	4.66/0.39	4.77 / 0.56	4.8 / 0.39	4.8 / 0.39	
⑤概算人件費		38,255	39,560	39,375	39,375	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		42,649	43,205	43,028	42,676	
⑦執行額		3,692	3,571	3,077		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		84.0%	98.0%	84.2%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		一般事務経費の削減率	%	4.5/10	1.5/10	1.5/10	/	10
				0	0	0	/	0
		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	文書処理件数	件	870 / 700	885 / 700	760/700	/
		単位あたりコスト		4.2	4.0	4.0		
		回		/	/	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・環境行政事務の円滑な実施のために必要な事業であり、市民サービスの充実に繋がっている。事務を進める上で必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト削減に努めることが必要であり、最低限の経費で済むよう事務の効率化などに心がけている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標は、事務の効率化により経費節減できた率で表している。より良い指標があれば変える必要がある。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		円滑な事務執行や、市民サービスの充実という目標の達成状況を評価する適切な指標の設定が難しい面がある。	
今後の課題及び方向性		無駄をなくすため、必要な事務処理と必要な経費の見極めを行い、経費節減に努める。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針 予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	第1期・第2期埋立処分場整備事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540123	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成27年度											
	終了予定年度	平成43年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	逼迫状態の不燃物埋立処分場において、第1期・第2期エリアの埋立量の拡大を図り、環境パーク全体の延命化を図る。				
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	1.6
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	株式会社富士興業 株式会社キタイ設計				
	事業概要	第1期・第2期埋立処分場嵩上げ整備工事を進めている。 埋立面積 4,500㎡、埋立量 21万㎡拡大				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)
		旅費	京都府への国庫補助申請に係る旅費			29
委託料		埋立処分場整備に付随する飛灰置き場の整備に係る設計業務			3,326	
工事請負費		第1期・第2期埋立処分場嵩上げ整備工事			113,215	
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	20,000	78,300	119,023	0	
	②補正予算					
	③流充用額	△ 7,000	△ 15,000	6,424		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	8,667	0	27,506	0	
	国支出金	4,333	0	42,201		
	府支出金	0	0			
	地方債	0	60,100	55,740		
	その他特財	0	3,200			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.50/0	0.46 / 0	0.32 / 0	0.32 / 0	
⑤概算人件費		4,000	3,680	2,560	2,560	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		17,000	66,980	128,007	2,560	
⑦執行額		10,686	60,562	116,570		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		82.2%	95.7%	92.9%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		埋立増量	㎡	0 / 0	0 / 0	7万/7万	/	21万
			0	/	/	/	0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		単年当たり事業進捗率	%	1 / 1	5 / 5	7 / 7	/	埋立完了
		単位あたりコスト		10686.0	12112.4	11640.0		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・新たな処分地の確保に比べ、現処分場の嵩上げを行うことでコスト削減を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標、活動目標については、各年度の予定工事を実施し、段階的に埋立量の拡大を図っていくことを目標としている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		予定工事が適正かつ安全に完成できたことは評価できる。	
今後の課題及び方向性		現在埋立している第3期処分場の残余容量に余裕がある間に、第1期・第2期の埋立が再開できるよう、事業進捗を促進する必要がある。また、更なる延命化に向け、産業廃棄物の搬入規制や第4期埋立処分場整備計画を進めていく必要がある。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	リサイクル啓発事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540131	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成15年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	家具等の修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R(スリーアール)のリデュース(ごみを減らす)・リユース(くり返し使う)・リサイクル(資源の再利用)に対する市民の意識向上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現する。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.1	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	(社)福知山シルバー人材センター、エコ美遊					
	事業概要	1 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を、修理再生し、リサイクルプラザで展示販売する。 ①展示販売品 ②修理再生家具等の販売 ③衣類などの無償譲渡 2 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を活用し、リサイクルプラザ2階の体験コーナーで、3Rの重要性について学習後、実際にガラス細工や布リフォームなどを体験してもらい、家庭や地域などで学んだ技術を活用してもらう。					
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)		
	需用費	家具等修理材料費一式、ガス代			30		
	役務費	修理再生品PL法保険料			5		
	業務委託料	リサイクル教室・リユースショップ運営業務、家具等修理再生業務			2,638		
	備品購入費	ミシン購入			49		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	3,282	2,959	2,863	2,560	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	1,397	1,236	1,178	844	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	1,396	1,236	1,198	1,280	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	489	487	487	436	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.17/0.10	0.2 / 0.5	0.18 / 0.3	0.18 / 0.3		
⑤概算人件費	1,610	2,850	2,190	2,190		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	4,892	5,809	5,053	4,750		
⑦執行額	3,229	2,948	2,722	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	98.4%	99.6%	95.1%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		リサイクル率	%	18.3/19.5	17.5 / 20.0	17.5 / 22.6	/	25.0(H32)
		一人当たりごみ排出量	kg	152/155	147 / 151	147 / 147	/	138(H32)
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		家具等の販売数	点	258/320	521/320	540/320	/	320
		体験教室参加者数	人	633/660	595/660	591 / 660	/	660
	単位あたりコスト		12.5	5.7	5.0			
	単位あたりコスト		5.1	5.0	4.6			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・体験教室や家具販売には毎回多くの申込みがあり、ニーズはある。リサイクル啓発が目的であり、営利目的の事業者が実施するには適さない事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・環境パークはリサイクル可能なものが豊富に集まり、効率よくリサイクル品の提供やリサイクル教室が行える。委託先は、営利を目的としない団体である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 ・他市との比較では、近隣では最も活発にリサイクル体験教室を実施している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		・修理再生家具等の販売及びリサイクル体験教室は、毎年多くの申込みや参加者があり、リサイクル啓発に一定の役割は果たしていると考ええるが、本事業が、成果指標であるごみの排出量やリサイクル率に対して、どれだけ効果があったのか、判断するのが難しい。	
今後の課題及び方向性		・市民のリサイクル意識の向上を促すことが目的であるということ意識しながら、事業を進める必要がある。 ・リサイクル品の販売数や体験教室参加者数が目的ではなく、啓発効果の大きさが重要であり、本事業に参加した市民がごみ減量化及びリサイクル意識を更に高める事業内容となるよう、平成31年度より体験教室の冒頭に、教室の目的や3Rの重要性について、映像教材により学習してもらう講習を行う。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	ごみ焼却施設修繕事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540138	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成28年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成12年度から稼働している焼却施設の各機械施設及び電気設備を計画的に整備することで、法令及び公害防止協定の遵守するとともに、施設の延命化を図り廃棄物の適正処理を行う。						
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.7		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等							
	事業概要	ごみ焼却施設は稼働後、18年が経過している。福知山市内からの燃やすごみを、法令及び公害防止協定を遵守するため適正かつ安全に焼却処理を行うことで、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。市民サービスの充実を図るため、ごみ焼却施設の設備の維持修繕を行う。						
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)		項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
	需用費	焼却炉耐火物及び機器等修繕、部品等消耗品				53,046		
関連事業	廃棄物処理施設等運転管理委託事業、環境パーク運転・維持管理事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	70,000	50,700	58,185	75,500	
	②補正予算					
	③流充用額	△ 36,748	4,893	△ 4,717		
	④繰越額計	△ 22,419	22,419	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	10,612	14,568	75,500	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	6,300	53,500	38,900		
	その他特財	4,533	13,900			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.32/0	0.44 / 0	0.48 /	0.48 / 0	
⑤概算人件費		2,560	3,520	3,840	3,840	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		13,393	81,532	57,308	79,340	
⑦執行額		9,661	76,912	53,046		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		89.2%	98.6%	99.2%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下
		0	/	/	/	/	0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		ごみ焼却量	t	18935 / 15567	18931 / 15298	18815 / 14281	/	0
	単位あたりコスト		0.5	4.1	2.8			
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ焼却量。 ・有効な技術等を常に研究している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		施設の計画的な修繕を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な「ごみ焼却」が行なえた。ごみの焼却処理に発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。	
今後の課題及び方向性		ごみ焼却を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。	

庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	所見

三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	所見

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算削減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	水処理施設運転・維持管理事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540142	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成28年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市環境パーク及び三和町・夜久野町・大江町の最終処分場から流れ込む浸出水を適正に処理するための水処理施設をそれぞれ設置している。その施設で処理された浸出水は、放流水として河川放流をするが、その放流水質は、法令の排出基準及び環境保全協定に定められた基準を遵守しなければならない。そのため、水処理施設の機械・電気設備を計画的な整備修繕を行うとともに、水処理施設の適正かつ安定した稼働と維持管理を行う。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.6	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	不燃物埋立処分場から排出される汚水(浸出水)を、公共水域基準及び公害防止協定値以下まで処理するため浸出水処理施設の安定かつ確実な稼働の維持管理を行う。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		需用費	消耗品費、光熱水費、修繕料			19,859	
委託料		浸出水処理施設 汚泥管理業務等			230		
役務費		通信運搬費、浄化槽点検			21,763		
関連事業	c						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	33,076	39,120	39,267	39,086	
	②補正予算					
	③流充用額	294	1,122	4,081		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	33,370	23,643	25,780	16,780	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	16,599	17,568	22,306	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.49/0	0.65 / 0	0.35 / 0	0.35 / 0	
⑤概算人件費		3,920	5,200	2,800	2,800	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		37,290	45,442	46,148	41,886	
⑦執行額		27,716	38,450	41,852		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		83.1%	95.5%	96.5%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下
			0	/	/	/	0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		放流量	t	88,800 / 136,145	88,572 / 136,145	/ 136,145	/	完全処理
		単位あたりコスト		0.3	0.4	0.0		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理は必要である。施設の適正管理を行うことにより公害防止協定の排水基準を守るうえで有効である。水処理施設放流水の排出基準及び公害防止協定基準を順守できた。	
今後の課題及び方向性		今後も排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理を行なう必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算削減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課					
	作成責任者	井上 和成					
	事業名	災害廃棄物処理事業					
	会計情報	款 民生費	項 災害救助費	目 災害救助費	会計 一般会計	事業コード 540145	決算付属資料
	施策体系	施策コード 040503	施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する				
	開始年度	平成30年度					
	終了予定年度	平成31年度					
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画					
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨及び台風24号の被害により発生した災害廃棄物を速やかに撤去・処分し、市民の生活環境保全を行う。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.5	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	業務委託：福知山環境事業協同組合ほか6者、工事請負：(株)今井工務店、岸下建設(株)					
	事業概要	各被災箇所において指定された臨時集積所に集まった災害廃棄物を環境パークまで収集運搬し、分別・処分を行う。また、全壊(7月豪雨については半壊を含む。)の被害を受けた住家屋等について、所有者からの申請に基づき、市が撤去・処分工事をし、既に自費で撤去・処分したものに對しては、その費用を償還する。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	0	0	0	0	
	②修正予算			60,900		
	③流充用額	0	7,073	△ 1,740		
	④繰越額計	0	0	△ 24,441	24,441	
	前年度繰越		0	0	24,441	
	次年度繰越		0	△ 24,441	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	4,540	17,360	12,221	
	国支出金	0	2,533	17,359	12,220	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0/0	0.41 / 0	0.87 / 0	0.87 / 0	
⑤概算人件費		0	3,280	6,960	6,960	
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)		0	10,353	41,679	31,401	
⑦執行額		0	7,073	34,721	0	
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		—	100.0%	100.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	生活環境状況			/	保全	保全	/	保全	
			0	/	/	/	/	0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		災害ごみの処理量		t	/	673 / 673	1,804 / 1,804	/	全量処理
			単位あたりコスト		0.0	10.5	19.2		
			/	/	/	/	0		
単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0					

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・災害ごみの処理を迅速に行うことは、生活環境を衛生的に保ち、被災市民が早急に通常生活に戻るために必要性が高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・経験をもった民間業者に委託することにより、迅速かつ効率的に処理を行っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については災害ごみ全てを迅速に処理することとしている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		臨時集積所に排出されたごみや、直接搬入されたごみについては、迅速かつ適正に処分できた。しかし、被災家屋の撤去・処分については、被災者からの申請期限である10月末日を待ってからの工事発注準備となり、次年度へ繰り越す必要が生じた。	
今後の課題及び方向性		災害ごみの処理については、被災自治会への連絡、臨時集積場の設置、収集業者の確保、便乗ごみ排出防止対策等について、災害発生直後からいかに迅速に行動できるかにかかっている。いざという時に素早く対応できるよう、災害廃棄物処理計画や災害廃棄物処理マニュアルについて関係職員が研究し、熟知しておくことや、各自治会等に対して災害ごみ排出方法を周知しておく必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	埋立処分場災害復旧事業											
	会計情報	款	災害復旧費	項	厚生労働災害復旧費	目	衛生施設災害復旧費	会計	一般会計	事業コード	540147	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨及び台風24号により被害を受けた埋立処分場管理道路等の復旧を行ない施設機能の復旧を図る。										
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	富士興業、北山組										
	事業概要	埋立処分場管理道路等の復旧を行ないうの復旧を図る。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		需要費	崩落斜面の修繕					417				
役務費		土砂撤去					872					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			8,500		
	②補正予算			△ 5,000		
	③流充用額					
	④繰越額計			0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源			0	0	
	国支出金					
	府支出金					
	地方債			3,500		
	その他特財					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.05 /	0.05 / 0		
⑤概算人件費			400	400		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			3,900	400		
⑦執行額			1,289			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			36.8%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		被災箇所復旧率				100%	/	
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		復旧事業施工箇所				5	/	
		単位あたりコスト				258.0	/	
	単位あたりコスト					/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・埋立処分場の災害復旧を行うことは、市民サービスを確保するために必要性が高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・適切な工法選定による効率化が図れた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については埋立処分場機能の復旧することとしている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		被害箇所の迅速な復旧による被害拡大の防止が図れた。	
今後の課題及び方向性		災害による施設被害に対する対応力を確保する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	環境パーク運転・維持管理事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540154	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成28年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生活から日常的に排出される廃棄物の処理を行なううえで、施設は良好な状態で維持しなければ、排出されるごみを適切に処理ができない。機器のトラブルにより、ごみを滞留させることは市民の安心して快適な衛生生活が確保されない。環境パークの施設を安全に保つため維持管理に努め市民生活の安全安心を図る。						
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	2.9		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等	福知山クリーンセンター、シルバー人材センター他						
	事業概要	平成12年度より燃やすごみを処理するために、現在のごみ焼却施設の稼働を初め、またリサイクルプラザは平成15年度より稼働を始め、「福知山市環境パーク」として17年が経過した。ごみ処理は、市民生活に密着したライフラインの一部であり、法に則した燃やすごみの完全な処理が、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理必要な施設の整備を行う。法令及び公害防止協定を遵守する必要もある。						
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
		需用費	焼却薬品代、その他消耗品、燃料費、電気料、上下水道料、修繕料				121,342	
		委託料	不燃物埋立処分場整地業務 他10件				74,294	
		使用料賃借料	トラックスケール賃借料、公用車リース料				12,926	
		賃金等	賃金、報償費、備品購入費、負担金補助及び交付金、公課費、旅費				2,237	
役務費		役務費				1,265		
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理運転維持・管理事業、リサイクルプラザ修繕事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	206,345	208,306	210,741	209,551	
	②補正予算					
	③流充用額			△ 3,804		
	④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越						
財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	13,644	78,922	80,114	80,521	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	179,298	122,449	126,823	129,030	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
従事職員数 (正職/嘱託)	1.93/2.5	1.77 / 2.55	2 / 2.9	2 / 2.9		
⑤概算人件費	21,690	20,535	23,250	23,250		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	214,632	221,906	230,187	232,801		
⑦執行額	192,520	193,754	212,064			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	99.8%	96.2%	102.5%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		公害防止協定、協定値の遵守			協定値以下	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下
		0		/	/	/	/	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標		
			廃棄物処理量(焼却、リサイクルプラザ)	t	23044 / 18937	23206 / 18555	23206 / 17436	/	完全処理
			単位あたりコスト		8.4	8.3	9.1		
			回		/	/	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		施設の安全、適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な「廃棄物処理」が行なえた。ごみ処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。	
今後の課題及び方向性		廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算削減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	リサイクルプラザ修繕事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540155	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成15年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・容器リサイクル法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生活から日常的に排出される廃棄物の処理を行なううえで、経年劣化に伴う性能低下が著しいサイクルプラザの各機械設備部品を計画的に整備することで、資源ごみ処理を適正に行っていく。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.6	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	三菱重工環境・化学株式会社					
	事業概要	リサイクルプラザ内の各施設は16年が経過した。容器包装プラスチック他の資源ごみの中間処理を行い、循環型社会の市民への啓蒙を行っている。法に則した資源ごみの完全な処理は、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理費を計上し施設の整備を行う。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理運転維持・管理事業					

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初	63,384	75,471	53,628	41,959
	②補正予算				
	③流充用額	32,387	△ 1,418	△ 7,962	
	④繰越額計	0	0	0	0
予算と執行の状況	前年度繰越				
	次年度繰越				
	財源内訳				
	一般財源	23,619	5,865	9,266	3,959
	国支出金	0	0		
	府支出金	5,352	5,482		
	地方債	66,800	51,100	36,400	38,000
その他特財	0	11,606			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.52/0	0.52 / 0	0.45 / 0	0.45 / 0	
⑤概算人件費	4,160	4,160	3,600	3,600	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	99,931	78,213	49,266	45,559	
⑦執行額	75,886	72,310	35,629		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	79.2%	97.6%	78.0%	0.0%	

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	搬入廃棄物の分別処理	完全処理	完全処理	完全処理
			0	/	/	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	リサイクルプラザ処理量	t	4109/ 3370	4275/ 3257	4275/ 3155	/	完全処理
	単位あたりコスト		18.5	16.9	8.3		
			/	/	/	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		施設の計画的な修繕を行うことにより、市内で発生するリサイクルごみの安定かつ適正な分別処理が行なえた。	
今後の課題及び方向性		廃棄物を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算削減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	指定ごみ袋作製事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540165	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成13年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	有料指定ごみ袋の導入(一般廃棄物の有料化)により、費用負担を軽減しようとするインセンティブが生まれ、ごみの排出量の抑制やリサイクルを促進ことが期待できる。ごみの減量により、焼却施設や埋立処分場の負荷を減少させると共に、延命化を図ることが可能となり、財政負担の軽減につながる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.6		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等	作製:㈱ユイテック、販売:福大商事ほか8者						
	事業概要	家庭ごみの排出抑制と再資源化の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革のため、有料指定ごみ袋による分別収集を実施し、また、指定ごみ袋を身近な店舗等で購入できるように、卸売・小売業者に販売を委託し、交付実績に応じて手数料を支払う。						
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)		
	需用費					23,872		
	役務費					23,000		
関連事業								

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	62,046	56,200	46,631	47,095	
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 13,358	△ 1,174	299		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	0	0	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	48,688	55,026	46,930	47,095	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.24/0.28	0.24 / 0.24	0.22 / 0.22	0.22 / 0.22	
⑤概算人件費		2,620	2,520	2,310	2,310	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		51,308	57,546	49,240	49,405	
⑦執行額		47,341	47,236	46,872	0	
執行率 (7/(①+②+③+④)×100)		97.2%	85.8%	99.9%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		年間1人当たりごみ排出量	kg	152 / 155	147 / 151	147 / 147	/	138(H32)
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		ごみ収集量(可燃・不燃・プラ)	t	12,292 / 1,1795	11,997 / 1,1435	11,879 / 1,1108	/	10,487
		単位あたりコスト		3.9	3.9	3.9		
			/	/	/	0		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		一般廃棄物処理基本計画で示している一般廃棄物の減量化目標を達成したことは評価できる。	
今後の課題及び方向性		分別不良により回収せず残してくるごみが多数あることや、スプレー缶等によるパッカー車の火災事故を防止するため、継続して分別啓発を推進していく。 また、ごみ排出量と収集運搬経費との関係について、効率的かつ適正な内容となるよう調査検討する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	ごみ収集運搬事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540171	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	昭和57年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民1人当たりのごみ排出量の削減をまですため、3Rの推進で減量化を進めるとともに、市民から排出される廃棄物(可燃、不燃、容器包装プラスチック、資源ごみ、粗大ごみ等)の分別収集を確実にし、衛生的で快適な生活環境を確保する。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	5.9	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	(株)福知山クリーンセンターほか6者					
	事業概要	安定的で円滑な収集運搬を確実にし、適切な市民対応ができる信用・技術・経験を有する業者へ委託する。 ゴミステーションの収集:可燃・不燃・容器プラ 4者、資源ごみ収集 3者 粗大ごみ等収集:2者					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	業務委託料	廃棄物収集運搬業務委託 8件			458,069		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	445,856	467,266	458,759	462,312	
	②補正予算			0		
	③流用額	0	△ 4,220	△ 499		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	265,798	289,254	289,144	306,736	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	180,058	173,792	169,116	155,576	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.26/0.1	0.39 / 0	0.31 / 0.05	0.31 / 0.05	
⑤概算人件費		2,330	3,120	2,605	2,605	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		448,186	466,166	460,865	464,917	
⑦執行額		445,854	462,371	458,069	0	
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	99.9%	100.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		年間1人当たりごみ排出量	kg	152 / 155	147 / 151	147 / 147	/	138(H32)
		分別不良によるごみ残し数	袋	/	/	7,800 / 7,800	/	6,200
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		ごみ収集量	t	13,638 / 1,3049	13,502 / 12,651	12,685 / 12,289	/	11,603
		単位あたりコスト		32.7	34.2	36.1		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		一般廃棄物処理基本計画で示している一般廃棄物の減量化目標を達成したことは評価できる。	
今後の課題及び方向性		分別不良により回収せず残してくるごみが多数あることや、スプレー缶等によるパッカー車の火災事故を防止するため、継続して分別啓発を推進していく。 また、ごみ排出量と収集運搬経費との関係について、効率的かつ適正な内容となるよう調査検討する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	廃棄物処理施設等運営管理委託事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540172	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成28年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	環境パーク内のごみ焼却施設及びリサイクルプラザ・埋立処分場水処理施設(環境パーク・梅原・大油子・三河)の適正な運営管理を実施することにより、搬入された可燃・不燃ごみ及び資源ごみ等の焼却処理、資源化及び減量化を行なうとともに、市民の衛生的かつ効率的な処理を行い、回収資源の還元による省資源化と廃棄物の減量及び埋立処分場の延命化を図る。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	1.6	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	株式会社タカダ					
	事業概要	焼却施設、リサイクルプラザ、水処理施設(環境パーク及び旧三町)の運営管理を委託し、業者のもっている専門的な知識を生かして、安定した維持管理を今後とも行う。 また、3カ年の長期継続契約とすることで、経費節減効果もある。					
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)		
	委託料	廃棄物処理施設運営維持管理業務、庁舎警備業務			127,952		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	110,383	127,440	127,593	148,665	
	②補正予算					
	③流充用額	34,328	152			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	144,711	78,891	40,358	39,974	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	48,701	87,235	108,691	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.20/0	0.19 / 0	0.09 / 0	0.09 / 0		
⑤概算人件費	1,600	1,520	720	720		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	127,440	129,112	128,313	149,385		
⑦執行額	144,711	127,592	127,952			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	100.0%	100.0%	100.3%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下
		0		/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		廃棄物処理量	t	23044 / 18937	23206 / 18555	23206 / 17436	/	完全処理
	単位あたりコスト		6.3	5.5	5.5			
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		施設の安全、適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な「廃棄物処理」が行なえた。ごみ処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。	
今後の課題及び方向性		廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算削減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	リサイクルプラザ不燃物分別事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540180	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成21年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	ごみ処理過程での火災や爆発事故を防止する。また併せて、使用済小型家電を分別回収することでリサイクルの促進を図る。				
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.2
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	福知山環境事業協同組合				
	事業概要	リサイクルプラザに搬入された不燃ごみを破砕処理する前に、スプレー缶やガスライター等の危険物や小型家電を手選別により除去・分別する業務を委託する。				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費(見込値)	
		需用費	フレコンバック60枚		46	
業務委託料		リサイクルプラザ不燃物分別業務		16,659		
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	14,969	16,560	16,533	0	
	②補正予算			0		
	③流充用額	2,060	0	178		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	10,875	12,490	14,333	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	6,154	4,070	2,378	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.05 / 0	0.06 / 0	0.07 / 0	0.07 / 0	
⑤概算人件費		400	480	560	560	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		17,429	17,040	17,271	560	
⑦執行額		15,643	16,449	16,705		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		91.9%	99.3%	100.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		火災・事故の発生件数	件	2 / 0	0 / 0	0 / 0	/	0
				/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		手選別日数	日	271 / 271	271 / 271	271 / 271	/	271
			単位あたりコスト	57.7	60.7	61.6	/	
			/	/	/	/	0	
		単位あたりコスト	0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク内の安全確保のためには、必要性は高い。 ・小型家電の再資源化促進については法施行されており、必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・安全の確保が主たる目的であり、成果目標としている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	不燃ごみに混入したスプレー缶やライター等による小規模な引火が回避できていない状況である。しかし、大規模な火災や人身事故が発生していないことは評価できる。		
今後の課題及び方向性	爆発事故が毎年発生している。処理時間内に効率的に選別作業を行い、安全を確保するには、家庭での正しい分別排出により危険ごみが適正に出されることが最も重要であり、市民への分別啓発の推進や収集業務の中での排除等、広い範囲で対策方法を調査検討する。平成31年度からリサイクル関連事業に統合する。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
予算額の反映状況(対H31)		担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	リサイクル関連事業											
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	会計	一般会計	事業コード	540194	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する								
	開始年度	平成15年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市一般廃棄物処理基本計画											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	再生資源物のリサイクル化を促進し、ごみの減量化を図る。					
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.9	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	(社)福知山シルバー人材センター、(福)ふくちやま福祉会、(福)みつみ福祉会、アクアテック、日本容器包装リサイクル協会ほか					
	事業概要	リサイクルプラザに搬入された資源ごみをリサイクル事業者の引き取り条件に適合させるための中間処理を行う業務を委託する。また、それに関する施設や作業用機械等の維持管理を行う。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		需用費	消耗品費、燃料費、機械修繕料			2,158	
		役務費	損害保険料、作業用車両検査料			202	
		委託料	中間処理業務、ビン分別業務、容器プラ分別業務、蛍光管・乾電池運搬・処分業務			63,567	
		使用料及び賃借料	危険ごみ破碎処理装置、ビン用ホイールローダ			3,268	
備品購入費		ホイールローダ用ノーパンクタイヤ			627		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	78,643	79,903	70,389		
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 136	547	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0		
	次年度繰越		0	0		
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	50,152	53,646	44,699	0	
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特財	28,355	26,804	25,690		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.21 / 0	0.23 / 0	0.32 / 0	0.32 / 0	
⑤概算人件費		1,680	1,840	2,560	2,560	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		80,187	82,290	72,949	2,560	
⑦執行額		72,119	76,731	69,887		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		91.9%	95.4%	99.3%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		リサイクル率	%	18.3 / 19.5	17.5 / 20.0	17.5 / 22.6	/	25.0(H32)
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		リサイクル量(中間処理分)	t	2,514 / 2,446	2,653 / 2,394	2,318 / 2,346	/	2,254
		単位あたりコスト		28.7	28.9	30.1	/	
			/	/	/	0		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・資源ごみのリサイクル化を促進することは、市民のごみ分別意識を高め、埋立処分場の延命化につながるため、必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	一般廃棄物処理基本計画で示しているリサイクル率の目標を達成するために、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、基本計画のリサイクル化施策の実行を促進させる必要がある。	
	今後の課題及び方向性	ごみの排出量が減量傾向にある中で資源ごみのリサイクル率を向上させていくために、ごみ分別排出の精度向上の啓発や、バイオマス燃料化等の新たな取り組みが必要。 また、リサイクル量と経費との関係について、効率的かつ適正な内容となるよう調査検討する。 平成31年度よりリサイクルプラザ不燃物分別事業を統合する。		

		所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	環境測定事業											
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費	会計	一般会計	事業コード	540616	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040502	施策名	公害対策を充実させる								
	開始年度	平成16年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	環境基本法、騒音規制法、悪臭防止法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生活環境の保全が図るため、環境測定を行い、人の健康の保護に資する上で維持されることが望ましい基準である「環境基準」が満たされていることを確認する。				
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.0
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	各種環境測定業者(4業種)				
	事業概要	市内で大気汚染、水質汚濁、悪臭公害が懸念される地域において環境測定を行い、状況を監視する。 また、騒音規制法第18条に基づき、市内幹線道路の代表的な地点の騒音測定を行い、道路を走行する自動車の運行に伴い発生する騒音に対して道路に面する地域の騒音暴露状況を把握する。 平成31年度より、環境保全事業へ統合する。				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費(見込値)	
		大気測定業務	長田野工業団地周辺における粉塵、臭気の測定		385	
環境騒音測定業務		2地点の騒音測定、面的評価		961		
水質検査業務		10地点採水、BOD他各種測定項目(68検体)		99		
臭気測定業務		畜産系臭気物質(8項目)、臭気濃度		177		
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	1,495	1,496	1,622	0	
	②補正予算					
	③流充用額	0	0			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	1,495	1,496	1,622	0	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.16/0	0.35 / 0	0.12 / 0	0.12 / 0	
⑤概算人件費		1,280	2,800	960	960	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		2,775	4,296	2,582	960	
⑦執行額		1,117	1,206	1,622		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		74.7%	80.6%	100.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		環境基準達成率	%	100/100	100/100	100/100	/	100
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		測定箇所数	箇所	14/14	15/14	14/14	/	14以下
		単位あたりコスト		79.8	80.4	115.9		
				/	/	/	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・環境公害について以前より懸案となっている地域において、環境測定を行うものであり、市民ニーズに応えるものである。騒音については、国の法定受託事務である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・測定には国家資格や高価な測定機器が必要であり、業者委託が最も効率が良い。 ・委託価格も、市販の積算図書の価格以下であり、妥当な価格である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・法令基準の達成率を成果目標とすることで、市内の環境保全状況を把握できる。 ・測定時期、場所などは、地元希望も聞きながら行っている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		法に基づき、実施している大気・臭気測定については、毎年、環境基準を満たしている。水質測定についても、概ね環境基準を満たしており、今後も地元の不安が解消できるよう、今後も継続して監視測定を行う。 市内幹線道路における騒音測定は、自動車騒音の状況に問題がないかを把握するための測定委託で、環境基準は概ね満たしており、目標は達成されている。	
今後の課題及び方向性		・測定結果が毎年基準値内であることを確認し、最終的には地元住民の不安を完全に無くしていきたい。ただ、測定結果は基準値以内であるが、個人的な感覚等もあり、一時的に大気汚染の苦情が住民から出ることもある。 ・今後も地元住民の不安解消のために、継続して、企業の環境対策の強化、低公害型設備の導入などを指導していくこととする。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針 予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課						
	作成責任者	井上 和成						
	事業名	狂犬病予防注射接種事業						
	会計情報	款 衛生費	項 保健衛生費	目 環境衛生費	会計 一般会計	事業コード 520115	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード 040403	施策名 人と自然が共生する社会を推進する					
	開始年度	昭和0年						
	終了予定年度	平成32年						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	狂犬病予防法						
	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	狂犬病予防法に基づく狂犬病の予防接種の実施。					
	対象者	市内で飼養されている犬	対象者数	約4,200頭	単位あたりコスト		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	京都府獣医師会へ一部委託					
	事業概要	犬の登録管理。 ○ 狂犬病の予防接種の委託。 ○ 定期集合狂犬病予防注射の実施。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		賃金	臨時職員人件費			1,325	
		旅費	狂犬病予防担当課長会議 参加旅費			7	
		需用費	案内ハガキ・鑑札・済票 他			161	
		役務費	電話料、郵送料			361	
委託料、使用料及び賃借料		京都府獣医師会事務委託料、複写機使用料			665		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	2,785	2,815	2,742	2,870	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	0	2,545	2,688	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	192	132	197	182	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	2,593	2,683	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.44/0	0.49 / 0	0.45 / 0	0.45 / 0		
⑤概算人件費	3,520	3,920	3,600	3,600		
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)	6,305	6,735	6,342	6,470		
⑦執行額	2,693	2,531	2,519			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	96.7%	89.9%	91.9%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		予防接種率	%	78.1	75.5	75	/ 85	100
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		予防接種頭数	頭	3283	3216	3174	/ 4200	4200
		単位あたりコスト		0.8	0.8	0.0		
				0	0	/	/	0
	単位あたりコスト		-	-	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	○ 狂犬病予防法により、狂犬病の感染拡大を阻止する必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	○ 狂犬病予防注射により、狂犬病の発生を抑える。(発生なし)
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○ 狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進のために必要である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		狂犬病予防注射接種率は京都府全体では65%程度となっているが、本市では約80%と高い水準を保持している。しかし、毎年微減傾向にあるため、100%接種を目標に接種率の向上のため、更なる広報等の充実が必要である。	
今後の課題及び方向性		4月に集合注射を実施しており、件数は毎年900件程度となっている。京都府内の市町村の中では集合注射の実施頭数が一番多いが、開業医での注射件数を含め、全体の注射率を上げるための手法を検討する必要がある。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	公衆浴場補助事業											
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費	会計	一般会計	事業コード	520117	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を推進する								
	開始年度	昭和0年											
	終了予定年度	平成32年											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公衆衛生の向上に寄与する施設である公衆浴場に対して支援することで、市民の公衆浴場利用の機会の確保を図る。					
	対象者	市内公衆浴場	対象者数	1	単位あたりコスト	435.0	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	市内公衆浴場(桜湯)					
	事業概要	市内公衆浴場(桜湯)への補助					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		負担金補助及び交付金	公衆浴場活動事業補助金			0	
						0	
	関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	400	200	195	150	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	400	200	195	150	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.07/0	0.08 / 0	0.03 / 0	0.03 / 0	
⑤概算人件費		560	640	240	240	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		960	840	435	390	
⑦執行額		400	0	0	0	
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		市内公衆浴場数	件	2	1	1	/	1
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		公衆浴場利用者数	人	6180	0	0	/	0
			単位あたりコスト	0.1	0.0	0.0	/	
				0	0	/	/	0
		単位あたりコスト	0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	○ 予期せぬ災害時の利用や街のコミュニケーションの場としての利用など公衆浴場の健全な運営を確保する意義は大きいものがある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	○ 経営支援を行うことで、公衆衛生の向上及び住民の福祉に寄与するとともに公衆浴場の健全な運営を確保される。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○ 公衆浴場の健全な運営が確保され、市民の公衆浴場利用の機会の確保に有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	公衆浴場を経営していくための支援ができるよう準備することができた。		
今後の課題及び方向性	ここ2年間は補助金申請はないが、公衆浴場は公衆衛生の向上に寄与する施設であり、経営を維持するためには支援が必要であるため継続して支援を行えるようにする。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	公衆便所管理事業											
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費	会計	一般会計	事業コード	520118	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	030502	施策名	下水道等を適切に維持管理する								
	開始年度	昭和0年											
	終了予定年度	平成32年											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公衆トイレ(岡ノ二・内記六丁目及び野家)の清潔保持に努め、市民その他の利用に供する。										
	対象者	市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	シルバー人材センター ほか										
	事業概要	公衆トイレの清掃委託、施設修繕。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
		需用費	消耗品費、光熱水費、修繕料							267		
		役務費	建物総合損害共済保険料							1		
		委託料	公衆便所清掃委託料							315		
		関連事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	538	554	550	553						
		②補正予算			0							
		③流充用額	26	49	33							
		④繰越額計	0	0	0	0						
	前年度繰越	前年度繰越		0	0	0						
		次年度繰越		0	0	0						
	財源内訳(①④内訳)	一般財源	564	603	583	553						
		国支出金	0	0	0	0						
		府支出金	0	0	0	0						
		地方債	0	0	0	0						
		その他特財	0	0	0	0						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁				
		特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁				
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.18/0	0.21 / 0	0.1 / 0	0.1 / 0						
⑤概算人件費		1,440	1,680	800	800							
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		2,004	2,283	1,383	1,353							
⑦執行額		564	602	583								
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		100.0%	99.8%	100.0%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		公衆トイレ数	箇所	3	3	3	/ 1	3
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		稼働日数	日	354	361	349	/ 365	365
		単位あたりコスト		1.6	1.7	0.0		
				0	0	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	○ 公衆便所の管理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項「市町村は、必要と認める場所に公衆便所及び公衆用ごみ容器を設け、これを衛生的に維持管理しなければならない。」に基づく事業である。 夜間その他で一般利用できるトイレが外に確認できるようになった現在において必要性は薄くなってきている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	○ 公衆トイレの衛生的な維持管理が図れる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○ 公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他の利用に供するために必要である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他に対して公衆トイレの利用を供することができた。	
今後の課題及び方向性		引き続き市民その他に対して公衆トイレの利用を供するため、継続して衛生的に維持管理を行う。 夜間その他で一般利用できるトイレが外に確認できるようになった現在において必要性は薄くなってきている。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課											
	作成責任者	井上 和成											
	事業名	環境衛生対策事業											
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費	会計	一般会計	事業コード	520130	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040101	施策名	災害に対する危機対応力を強化する								
	開始年度	昭和											
	終了予定年度	平成32年(2020年)											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	災害に備えて衛生消毒機器を整備するとともに消毒液等を備蓄し、災害発生後は消毒作業を実施することで感染症などの防止に努め市民の衛生状態を保つ。 また、蜂の駆除を行う市民に対し防護服を貸し出しすることで、蜂の巣の安全な除去により市民生活の安全性を確保する。										
	対象者	市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.1						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	災害に備えた衛生消毒機器の整備 衛生消毒液の備蓄・更新 災害発生後の衛生消毒業務 蜂駆除防護服の貸し出し										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		旅費	報告					10				
		需用費	衛生消毒液 ほか					371				
		役務費	電話料 ほか					7				
		使用料及び賃借料	複写機使用料					4				
備品購入費		プリンタ、噴霧器					45					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	1,099	1,099	1,091	587						
		②補正予算			0							
		③流充用額	△ 169	△ 49	△ 33							
		④繰越額計	0	0	0	0						
	前年度繰越			0	0	0						
				0	0	0						
	財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	930	1,050	1,058	587						
		国支出金	0	0	0	0						
		府支出金	0	0	0	0						
		地方債	0	0	0	0						
		その他特財	0	0	0	0						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁				
		特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁				
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.19/0	0.76 / 0	0.8 / 0	0.8 / 0							
	⑤概算人件費	1,520	6,080	6,400	6,400							
	⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	2,450	7,130	7,458	6,987							
	⑦執行額	356	259	516								
	執行率 (7/(①+②+③+④)×100)	38.3%	24.7%	48.8%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		蜂駆除防護服貸出件数	件	66	109	29	/	0
			単位あたりコスト	5.4	2.4	0.0		
		消毒実施件数	件	0	179	758	/	0
			単位あたりコスト	—	1.4	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	災害に備えるために必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	災害に備えた準備を行うことで、災害に対する早期対応が図れる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	災害の規模も発生も予想できないが、定量の備蓄を行うことは災害の早期対応に有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>災害に備え衛生消毒剤の備蓄と消毒機器の整備を適正に行うことができた。 豪雨や台風による災害で発生した浸水被害に対し、消毒作業の早期対応することができた。 蜂の駆除を行う市民に対し、防護服を貸し出しを実施することができた。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>予期せぬ災害に備え消毒薬の備蓄と消毒器具の整備実施を継続する。 蜂駆除防護服の適正な更新により維持管理に努める。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】